

# かわら版



## 第16回県サ連定期総会について

緊急事態宣言が解除されたものの、サークル再開の目途が立てられない状況が続いております。

かわら版91号でもお伝えしたとおり、第16回県サ連定期総会は書面表決を行うことにいたしました。

県サ連事務局より、加盟サークルに総会資料と委任状をお送りいたします。必要事項を記載のうえ、各ブロック事務局へ返信ください。

## 県サ連役員会

県サ連でも、コロナウイルスと共存しながら感染を予防する新しい生活様式を模索しております。

役員会をテレビ会議方式で出来ないかということで、まずは三役で試し問題がないことから、5月23日（土）テレビ会議方式による役員会を開催しました。

文字だけでは伝わらないこともお互いに顔を見て話し合うことができ、議案が少ない時や簡単な打ち合わせでは有効なことがわかりました。また、欠席者には事前に議案に対する意見や質問を伺い、議事録も作成しました。

### 【主な議題】

#### ◆総会について

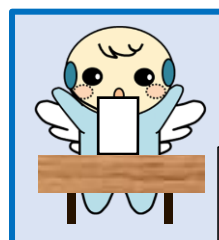
- 6月中に書面表決で行う
- 今年度の分担金は基本金500円のみとする
- 新役員はブロック会議再開後に周知

#### ◆防災カルタについて

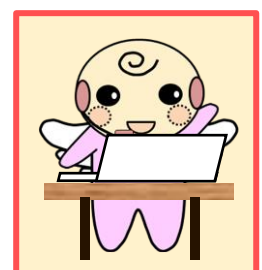
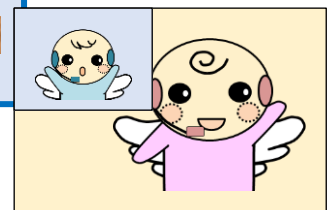
- 各ブロック会議再開後、ブロック会議で各サークルへ配布

#### ◆その他

- 各ブロックやサークルの状況



<イメージ>





## サークル活動どうしてる？

公民館などの休館でサークルが出来ない中、LINE（ライン）を使ったオンラインサークルを開催している、旭市「若葉の会」の取り組みをご紹介します！

Q：開催のきっかけは？

A：高齢化が進んでいます。昨年度、防災やサークルのお知らせをするため、会員のSNS利用状況を調査、グループLINEを準備していました。今回の自粛要請が出たときにサークルのグループLINEをつくることができました。

最初は、手話関係のニュースや手話の話題を投稿していましたが、ろう者が2～3分程度のスピーチ動画を投稿してくれ、本来のサークル時間に合わせてグループLINE（トーク）をはじめました。

ろう者の動画を見る

内容がわかる人はヒントを出す

質問等はトークで

Q：全会員参加していますか？

A：ガラケーでLINEをやっていない人も数人います。その人には事務局が後で学習内容をお知らせしています。

他にもこんなことやっているよ！というサークルがありましたら、県サ連へ

## 自宅ですること

### ① ネットなどの活用

手話と字幕の番組「目で聴くテレビ」に耳の聞こえる人向け「シードラゴン」が登場。全国各地の情報提供施設の作品や過去の放送も見られます。

詳しくは 障害者放送通信機構

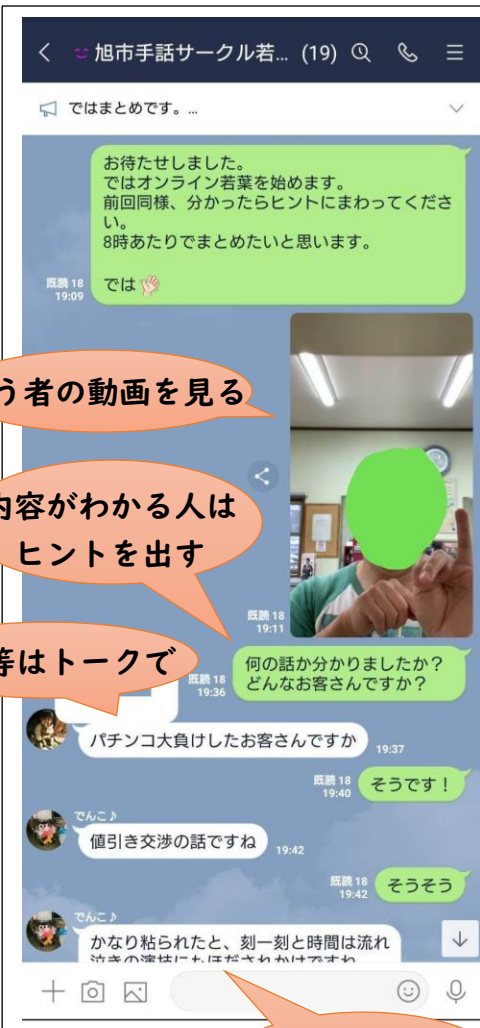
<http://medekiku.jp>

### ② テレビの活用

テレビ欄の国のマークを探そう！手話付きで、単語学習番組もあるよ。

### ③ 書籍の活用

日本聴力障害新聞や新しい手話などを読んで、知識を広げよう。



みんなで答えをまとめる

